

国際交流サークルに入り、将来は海外留学を希望

中国地方の公立大学に入学した女子学生

進学した国際学部は、1つの学科の中で5つのプログラムがあるのですが、私はこの大学を志望校として選んだ時から選択したいプログラムが決まっています。それは、国際政治・平和プログラムです。私は、内戦の解決や平和の構築を支援する活動に興味があり、卒業後もこのような活動をしたいと考え、このプログラムを選択しました。そのため、まだ必修ではないのですが1年次から取ることができる専攻プログラムの授業も取ることにしました。

サークル活動にも力を入れていきたいです。サークルは、大学祭実行委員会と、大学にいる留学生と交流する国際交流サークルに入ることに決めました。学祭実行委は大学内で最も規模が大きいです。学内では英語圏だけでなく様々な国から100人を超える留学生がいるため、多様な価値観に触れることができると思います。

夏休みはソーシャルインターンシップに参加します。これは企業で行うインターンシップとは違い、議会やNPOで研修を行うインターンシップです。私は現地の地方議会に行く予定なのですが、企業とは違い、様々な地域課題を知ることができ、その解決策も議員の方々と考えることができます。2か月間という長い期間ですが、地域に必要なことを考え、実行していきたいと思っています。

2年次からは、英語圏への留学を考えています。最初は短期語学留学から始め、3、4年次からは1年間の長期留学を視野に入れていきます。そのため、1年生では英語力の向上に努めたいと思っています。座学だけでなく、外国から来た先生や留学生と積極的にコミュニケーションを取り、英語力を高めていきたいです。

社会科教諭になるために史学科で専門的に学びたい

都内の私立大学文学部史学科に入学した女子学生

小学生のころからの夢である社会の先生になることを目標にこの大学に決めました。しかし、私の第一志望は別の大学の教育学部であり、そのためにたくさん勉強をしていました。結果はダメでしたけれど、今の大学に入学したことに後悔していません。なぜなら、ここの史学科はとても専門的な勉強ができ、教師になったときに専門的な知識が豊富だと豆知識を話せたり、楽しく授業ができたりするという利点があると思うからです。大きな博物館もあり、これまで習ってきた化石や考古学研究が実際に肌で感じることができとても感動しました。

大学の勉強以外にサークルやバイトも全力でやりたいなと思っています。5歳からダンスを始めましたが、中学生のころバドミントン部に入ったため、両立

ができず、ダンスをやめてしまいました。だから、大学ではダンスサークルに入り、ダンスを通して年の差に関係なく交友の場を広げたいです。

バイトでは塾講師を始め、小・中・高関係なく文系教科を教えています。今から勉強を教えることや、生徒とコミュニケーションをとったり、分からない問題を一緒に解いたりすることは、私の将来の夢である学校に先生になるための練習だと思います。

大学生になってから史学科の授業に加え、教職の授業もあり、更にサークル、バイトととても忙しい日々を送っています。4月から里親から離れ、姉も社会人になり、私も一人暮らしになります。今の生活でさえいっぱい、いっぱいなのに、これから家事なども加えられると考えると、不安な部分もあります。しかし、奨学金を活用し、優先順位をしっかりと考えて何事にも怠らない生活をしていきたいと思っています。そして大学生生活の4年間を乗り越えて、学校の先生になります。

対話能力つけるためオープンキャンパススタッフに

関西の私立大学看護学科に入学した女子学生

この大学に入って、看護師の資格とできれば助産師の資格を取りたいと思っています。単位を落とさないことはもちろんですが、大学の成績（GPA）を平均以上にしたいです。そのためにはたくさん勉強しないといけないので、タイムマネジメントがしっかりと設定できるよう日々の生活で予定を書いたりするなどして、能力を身につけたいです。

学生生活の中で、大学のオープンキャンパススタッフを募集していたので、応募してみたいと思います。スタッフになると、よりたくさんの人と関わる機会が増えてくるので、コミュニケーション能力が身につくと思います。看護師になるにあたってコミュニケーション能力は必要となるものなので、看護師になるための第一歩と思い、参加してみようと思いました。これから大学での行事もたくさんあると思うので積極的に参加し、リーダーシップを取れるようになりたいです。

大学生活にはまだ慣れてない部分もありますが、とても充実した大学生活を送っています。看護は課題がとてもたくさん出ますが、大学でできた友達と一緒に課題に取り組み、頑張っています。一番初めの授業で2400字のレポートを書く課題が出たときは驚きましたが、何とか終わらすことができました。今後も同じようなレポートは出てくると思うので早く慣れていきたいです。また、大学のバスケサークルにも入りました。バスケ以外にもいくつかスポーツをやるときもあり、運動不足だったので良い運動になっています。

看護学科の学生は103名ほどいます。大学が始まってからそんなに時間が

経っていませんが、みんなとても仲が良く、私もたくさん友達ができました。私自身、少し人見知りなところがあるので、初めは友達ができるか心配でしたが大丈夫でした。また、大学生活の中で楽しみにしていることがあり、それは大学に来てくれるキッチンカーです。以前はクレープがあり、色々なトッピングがあって美味しかったです。まだまだ大学は始まったばかりなので、これからゆっくと慣れていき、やりたいことや勉強を頑張っていこうと思います。

さんさ踊りとボランティアの2サークルに参加へ

東北地方の公立大学看護学部に入学者女子学生

4月6日に入学式が行われ、ついに大学生になったという実感がわきました。入学後1週間はオリエンテーションやガイダンスがありましたが、情報量が多すぎて軽くパニックになりました。大学生ならではの履修登録の期間もあり、ミスがないか、何度も確認して不安ながらもなんとか登録することができました。すでに授業が始まってレポート提出や予習、復習などやらなければいけないことがたくさんあります。大変ですが、友達と協力しながら頑張ろうと思います。大学でできた新しい友達もいて毎日とても充実しています。

新入生歓迎会では興味のあるサークルが二つありました。一つはもともと入りたいと思っていたさんさのサークルです。活動内容などを聞いてさらに活動が楽しみになりました。もう一つはYMCAというサークルです。ボランティアサークルで子供とサッカーをしたり、水泳をしたりするという活動でした。長期休みの間は泊まりでキャンプやスキー教室などもしているそうです。自分も体を動かしながら楽しめそうなので積極的に活動に参加したいと思います。

大学進学と同時に一人暮らしも始めました。自炊や洗濯、掃除などできる時間を見つけてそれなりの生活を送れていると思います。自由になったという解放感もありますが、それ以上に様々なことを自分でやらなければいけない大変さをととても感じています。改めて今までとても楽に生活させてもらっていたなと感じました。これからもっと本格的に授業やサークル活動が始まったら、さらに大変になると思うので、早く自分に合う生活スタイルを見つけられれば良いなと思っています。やってみたいと思ったことにはなるべく挑戦していきたいのでやるべきことを計画的に終わらせて余裕を持った行動を心がけます。

友達も出来 目標の海外生活のために英語学習に取り組む

首都圏の私立大学法学部に入学者男子学生

入学式の日、初めてスーツを着用し、公式の場に参加しました。一番感じた

ことは、学生数の多さです。学生数が多いため1部・2部に別れ、私は2部に参加しました。その時の心境として友達ができるのか、どうしたら友達が出来るのか。1人の自分が辛くて、立ち直れませんでした。

翌日には、オリエンテーション、健康診断、新入生歓迎会と立て続けに学校行事が行われ、周りは友達が次々と出来、楽しそうにしているのを見て、不安と焦りが増えていく日々でした。

しかし、その中でもその気持ちをなくし、まずは大学生の「履修登録」を本気で行いました。出来ないで終わらすのではなく、最善の策を作ろうと目標を立て、大学の教務課の職員さん、大学のボランティアサークルの先輩学生、自立援助ホームステップの職員さんなど多くの方々のアドバイスを受け、第1セメスター（前期）の上限である22単位、丁度に時間割を作り上げました。

法学部の授業も始まりましたが、私は、現在、「英語」を勉強しています。私が通う大学の英語科目はAll Englishです。高校の時は分からないところがあったら、日本語で教えてもらいましたが、大学は、4つの英語科目のうち3つの講義で、質問があったら英語で質問しています。必ず受けなければいけない必修の授業以外に、法学部の「GPP」と呼ばれる国際関係の視点を身に着けたい人が受講するプログラムを受けています。申し込んだ全員が受けられるわけではなく、審査があり、受講が認められました。私は何か大学の中で本気で頑張ったことを作りたく「英語」に取り組んでいます。

生前、母が常に「ハワイ」の良さを伝えてくれ、海外での生活を一回は経験したいと考え、目標に向かって活動しています。また、1か月前と大きく変わったこととして、心の底から話し合える友達が出来たことです。昼ご飯、講義、大学以外の場でも友達と交流しています。「友達」はお金に変えられない存在だと実感しています。

大学での勉学の質の高さに一番苦戦していますが、出来ないで終わらせずに予習・復習を頑張ります

1 人暮らしで施設にいた時は気づかなかったことに感謝

北海道の私立大学建築学科に入学した男子学生

4月4日に無事入学式を終え、大学生になりました。

高校生の頃は金銭面を理由に進学して建築士になりたいという希望を諦めようとしていたところを、たくさんの方々の応援や、支援を受けて無事に進学希望が実現し、入学できたことに心より感謝しています。

1人暮らしから1ヶ月程が経ち、段々と1人暮らしの生活にも慣れてきました。施設に入所していた頃は気づかなかった、時間になればご飯ができて、

お風呂が沸いていて、過ごしやすい気温に調整されていることがとてもありがたい事だったのだと思いながら日々生活しています。家賃、光熱費、授業料、食費など毎月のかかる生活費を自分で稼ぎながら生活をするのはすごく大変ですが、夢を叶えるために節約をしながら生活をしたいと思います。

大学の授業でも高校の頃から授業の難易度が上がり、今はついて行くので精一杯ですが、同じ目標を持つ友人と励まし合って毎日コツコツと勉強をしています。私が通っている建築学科は必須の授業が多く、月曜日から金曜日まで毎日4コマ分の授業があり、とても忙しいですが、応援して下さる方々の事を思い出して欠席しないようにしたいです。

私は2018年に起きた北海道胆振東部地震をきっかけに建築士を目指したいと思ったので、建築士の中でも構造という専門分野の勉強をしたいです。大学生活では勉強はもちろんですが、大学生の時にしか経験できない事をたくさん経験したいと考えております。具体的には日本の有名建造物をたくさん観光しに行きたいと思っています。実際に見て感じたスケールの大きさや、設計者の考え、自分のイメージなどを大学の研究課題や、就職してからのアイデアにしたいと考えています。

将来は建築士となり今度は私が養護施設の方々などに支援してあげることが恩返しだと思っていますので、夢を叶えられるように大学の4年間努力していきたいと思います。

立て続けの資格試験に向けて勉強 家族にサポートにも感謝

関東の情報関連の専門学校に入学した男子学生

入学して約2週間が経ちましたが、授業の内容が専門的なものが多く、難しいと感じる時があります。しかし、授業に遅れずなんとかついていこうと予習や復習をこなしながら必死に努力しています。5月には全計簿記検定3級の試験を受験予定です。今はその試験に向けて勉強しています。9月には今年の第一目標であるITパスポート国家試験を受験予定です。夏休みを活用して確実に合格できるよう対策を立てて勉強に取り組みたいと考えています。12月には基本情報技術者検定科目Aの試験があります。進級に関わる大事な試験でもあるため、直前ではなく今からでも少しずつ勉強を進めていきたいと考えています。通常の授業のほかに、立て続けに資格試験がありますが、どちらも両立しながら良い結果が出せることを目標に頑張りたいです。

4月に約5年間過ごした児童養護施設から実家へと拠点を移し、新しい生活が始まりました。私が勉強に集中できるようにと両親が1人部屋を用意してく

れたことにとっても感謝しています。私は朝が弱いため、進学してからは早寝早起きを心掛けていますが、それでもやはり朝はなかなか起きられず、入学してから現在までに何度も目覚ましアラームをかけ忘れ寝坊しそうになることがありました。しかし、寝坊させまいと母が私を気にかけてながら起こしてくれており、家族がサポートしてくれる環境にありがたみを感じる毎日を送っています。

専門学校に入学後、新しい友人も少しずつ増えてきています。実に11年ぶりに保育園時代の友人と専門学校で再会したことが今年一番の驚きです。今後も周りの協力してくれる人々に感謝しながら、目標に向かって勉強に励み、また交友関係を広げながら学生生活を過ごしていきたいと思っています。

「ベッドメイキングも看護の大切な一つ」 演習で痛感

鳥取県内の看護専門学校に入学した山本千尋さん

4月4日に入学式が行われ、翌日から登校しています。オープンキャンパスや、プレカレッジなど以前から参加していたため学校の雰囲気などは知っていましたが、初日はとても緊張しました。高校とは違い同年代だけでなく社会人経験がある方も多くおられるため、コミュニケーションが難しくなりますが、交流により色々なことが学べると思いました。

学校では本格的に授業も始まりました。今までとは違う学習や授業スタイルなのでまだ慣れていませんが、看護につながる倫理学や哲学、環境学も学んでいます。また、1年の前半の座学は学内の先生だけでなく鳥取大学の教授や、環境大学の教授の講義がほとんどです。演習ではベッドメイキングから始めました。看護とは関係ないと思っていましたが、患者さんにとってはとても大切な看護の一つだということが学べました。専門学校では、自分の学びたかった分野が学べるためモチベーションも高く、頑張りたいです。

また、新しい事といえば、入学して数日たってからドラッグストアで初のアルバイトを始めました。初めてのことばかりで、まだ一人で出来ないことが沢山ありますが、レジではお客さんと直接関わるため、言葉遣いや態度、聞き取りやすい声で話すなどを意識しています。レジは、他の作業より覚えることも多くとても大変ですが、沢山のことを教えてもらいながら頑張っています。

4月から新しい環境で色々な事を始めているので、まだ慣れないこともあり毎日大変ですが、自分の将来の夢を叶えるためにもやりたいことを実行するためにも3年間頑張りたいと思います。

九州のスポートズ関係の専門学校に入学した

入学報告

男子学生

私は

ナイニストラウクターコースに進学しました。4月7日に入学式があり、最初の1週間はオリエンテーションがあり、学校の方針について話をきいたり、バイトでは、学校の方針について話をきいたり、説明がありました。オリエンテーションの最

終日には、新入生の交流を回すためボート大会もありました。通学は原付バイクで通学していきます。その理由としてバスや電車での通学にはなるといって、バイトの時間が確保できるといいます。学校で提携を結んでいり、スズキのバイクも購入して、バイクも買りました。4月25日から知事の日を、トレイナーとして、スキルもそろそろお客さんとのコミュニケーション、社会性、協働性を身に付けていきます。

私は

著と4人で生活して、現在祖父母の家にまかせたのはなく、食器洗い・掃除・洗濯など自分でできること、他人まかせにせがれようにしていきます。それも全て自律に繋がると思っています。今後は、授業が本格的に始まり、バイトも始まっていきます。その2つを両立させるには、まあ自分自身の健康管理をしっかりと行い、祖父母への感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

今後の抱負としては、相談しあえる仲間をつくらせていき、私の最終目標とするNSCAの資格をとるためお互いに支え合っていきたいです。また、中学生の頃から続けている能力トレニングを続けていき、より専門的なレベルにまで指導することのできるようにしていきます。統括先と親身して、賞学金を大切に使用させていただきます。

毎日、前日に学んだことのテスト 正解9割以下だと補講

首都圏の公務員になるための専門学校に入学した男子学生

入学後の印象としては、先輩方や先生方がとても明るく、2年間楽しく学べると思いました。カリキュラムとしては毎日前日のテストをし、正解が9割以下だと放課後補講を受けます。分からない所を先延ばしにせず、その日の内に覚えるというやり方で、ついていくのが大変です。そして、その週に受けた科目の一つをまとめテストをし、これも9割以上の点数を取ります。今のところ、2回とも満点で頑張っています。

バイトは週4と大変ですが、今のところ、やっていけています。新しい内容も増えて苦勞もしていますが仲間に恵まれ、支え合って働いています。

新しいクラスにも大分慣れ、一番上のクラスということもあり、皆頭が良く分からない所をよく聞いています。同じ志を持った仲間にも恵まれ2年間しっかり学業に専念していきます。